高齢者の豊かな生活のために　　２０２０年１月１日発行

手 賀 沼 通 信（第２６２号）

Ｅメール：nittay@jcom.home.ne.jp　http://ynitta.cocolog-nifty.com/blog/　新田良昭
http://jfn.josuikai.net/semi/koyukai　http://tegatu2.web.fc2.com

あけましておめでとうございます

令和時代初めてのお正月です。

皆様にとって良い年となるようお祈りいたします。

中国あれこれでおなじみの大川豊さんより、中央ヨーロッパ旅行についての旅行記をいただきました。昨年夏にご投稿いただいたのですが、諸事情で掲載が遅くなりました。大川さんにはお詫び申し上げます。

でも美しい写真がいっぱいですので、新年号にふさわしいと信じております。

中欧の古都をめぐる　大 川 豊

（2019 年 6 月 4 日～12 日）

昨年のドイツ東部の旅に続いて、今年は中世や近世の趣きが残る中欧ヨーロッパ三カ国を旅行した。ヨーロッパはあまり馴染みがないので、JTB の「中世が薫る中欧－美しい古都をめぐる旅 9 日間」添乗員付きツアーを利用した。

飛行機は手頃な直行便がないため、フランクフルトへ飛び、そこからＥＵ国内便でチェコへ向かう。帰路はハンガリーから再びフランクフルトを経由して羽田へ戻った。

時差７時間、羽田-フランクフルトおよそ 11 時間のフライトのため、今回はＬＨのビジネスクラスを利用した。しかし、座席は平らになるのだが、結局あまりよく眠れなかった。ただ、ツアーのグレイドが上がり、豪華なホテルに泊まれ、快適であった。

巡った所は三か国７都市に及んだ。

１）チェコ：　プラハ、チェスキークルムロフ
２）オーストリア：　ザルツブルグ、ハルシュタット、ウィーン
３）ハンガリー：　エステルゴム、ブダペスト

旅行した三か国は何れもＥＵ加盟国だが、通貨はオーストリアではユーロ、チェコはコルナ、ハンガリーはフォリントで、それぞれレートも異なりまごついた。ユーロはどこでも使えたが、変換率は割高で、釣銭は自国通貨で渡された。

訪れた国の概要は次のようになる。

１）チェコ

面積　7.9 万㎢
人口　1054 万人　（プラハ　126 万人）
民族　チェコ人　（スロバキア人は少数）
言語　チェコ語
宗教　カトリック（27%）
通貨　コルナ

２）オーストリア

面積　8.4 万㎢
人口　850 万人　（ウィーン　176 万人）
民族　ゲルマン
言語　ドイツ語
宗教　カトリック（66%）
通貨　ユーロ

３）ハンガリー

面積　9.3 万㎢
人口　990 万人　（ブダペスト　173 万人）
民族　ハンガリー人（マジャル人）
言語　マジャル語

モルダウ川よりプラハ城をのぞむ

宗教　カトリック（39%）
通貨　フォリント

1．ツアーの景観

1）プラハ

城内にある聖ビート教会

観光客でにぎわうカレル橋

旧市街散策　ティーン聖母教会

モルダウ川に架かるカレル橋を中心に、西にプラハ城、東に旧市街が広がる。中世や近世の建物が軒を連ね、その間を縫うように市電が走っていた。

2）中世の街　チェスキークルムロフ（チェコ）

プラハからオーストリアへ向かう途中にあるチェスキークルムロフ。モルダウ川に沿って中世に取り残されたような街並みが並ぶ。

チェスキークルムロフ城から市街を

市街からチェスキークルムロフ城を

3）ザルツブルク（オーストリア）

チェコからドイツ国境に近いザルツブルグへ向かう。ザルツブルグはモーツァルトと映画「サウンドオブミュージック」の撮影場所でにぎわう。

ザルツブルク（旧市街）全景

ドレミの歌のミラベル庭園

洒落た店がならぶゲトライデ通り

通りにあるモーツァルトの育った家

4）ハルシュタット（オーストリア）

ザルツブルグからウィーンへ向かう途中でハルシュタットによる。ハルシュタットは静かな湖畔の村だが、多くの観光客でごった返している。

ハルシュタット湖の教会

対岸のシャトー

５）ウィーン

ウィーンはリンクと呼ばれる環状道路に沿って美術館や博物館、宮殿等が立ち並ぶ芸術の街。ベルベデーレ宮殿やシェーンブルン宮殿はリンクから少し外れた所にあった。

ベルベデーレ宮殿

シェーンブルン宮殿の大広間

王宮庭園のモーツァルト像

ハプスブルク家の居城ホーフブルク

６）ハンガリー　ドナウベント地方

ウィーンからドナウ川に沿ってハンガリーへ向かう。西から東へ流れるドナウ川はドナウベント（曲がり角）で南へ折れブダペストへ流れる。

ビシュグラード砦

ドナウ川の景観

7）ブダペスト

ブダペストはドナウ川によってブダ地区とペスト地区に分かれ、川に沿って壮大な中世近世の建築物が並ぶ。

ドナウ川の西岸にそびえる王宮

漁夫の砦と言われる城塞

川沿いに広がるブダペスト

漁夫の砦から見る東岸の国会議事堂

2．中欧の雑感

1）中欧は 1 世紀のローマ人の侵入に始まり、モンゴル人の来襲、神聖ローマ帝国、オスマントルコの侵略、オーストリア・ハンガリー帝国など多様な歴史と地政を持ち、なかでもウィーン、プラハ、ブダペストはハプスブルク家ゆかりの主要都市であった。

2）ウィーンのドナウ川はブダペストを流れ、東欧を経て黒海へそそいでいる。逆に、プラハのモルダウ川はエルベ川にそそぎ、ドイツのドレスデンを経て北海へと流れる。

3）何れも巨大な石造りの宮殿や教会、瀟洒な石造のアパートメントが立ち並び、中世、近世の景観が良く保たれている。

4）どの都市にも高さ 50 メートルを超す尖塔を持った教会がいくつも建てられており、改めてキリスト教の盛強さが実感される。また、数百室や千室を超える宮殿が建てられ、内部は金銀の彫刻や壁画で装飾され、皇帝や貴族の財力に感心させられる。

5）ブダペストのドナウ川クルーズ

ドナウ川は思ったより川幅が広く、満々と水をたたえている。ちょうど訪れた前の週に韓国の観光客を乗せた遊覧船が衝突して沈没したが、何も無かったように大小様々なクルーズ船が行きかっていた。

６）美少女が多い
街を歩くと、ゲルマン系か金髪で色白、すらりと肢体の伸びた可愛らしい美少女とすれ違い、楽しい。

７）有料トイレが多い
観光地のトイレはほとんど有料で煩わしい。ただ、ドライブインのトイレは領収書が渡され、売店で商品を買うと割引きしてくれる。

８）市電や地下鉄がめんどう
どの都市にも市電が残されていた。ただ、公共交通機関に乗るために券売機を探したり、切符に刻印をしたりせねばならず、煩わしい。

９）チップ文化圏
どの都市でもチップが必要だったが、忘れてもラテン系のように要求されたり、嫌な顔をされたりすることはなかった。

１０）カフェ文化圏
どの都市でもいたるところでレストランやカフェが街路にパラソルやテーブルを出していて、気楽に休める。物価は少し高めだが、ビールは3.5 ユーロ程で、街を歩いて喉が渇くと手軽に喉を潤せる。

１１）ビールとワイン
昼食ではビール、夕食では白と赤のワインを味わった。ビールの種類が豊富で少しずつ味が異なり、また、ワインもグラスワインだったが楽しめた。

１２）今回のコースは世界的な観光地のせいか、どこへ行っても観光客でいっぱいで驚かされた。
ことに中国、日本、韓国のツアーが目についた。
以上、中近世ヨーロッパの街並みを楽しんだ。

手賀沼通信編集者としては、素晴らしい写真ばかりなので、カットしたりサイズを小さくしたりして４ページに収めるのは申し訳ないと感じました。そのため今月号は６ページになりました。
新年特別号としたいと思います。

ご投稿のお願い

下記の要領で皆様方のご投稿を募集いたします。よろしくお願いいたします。
内容：私の終活
原稿の長さ：Ａ４の４ページ以内なら特に制限はありません
締切：特に決まりはありません
タイトル、お名前、年齢（できれば生年月日）をそえてメール添付または郵送でお送りいただければと思います。

手賀沼通信ブログ抜粋

ありがとう阿部慎之介選手（ＮＯ．１２７３）（令和元年９月２６日）

令和元年９月２５日、読売ジャイアンツの阿部慎之介選手が記者会見を開き、今年限りで現役を引退することを発表しました。選手生活１９年間、４０歳での引退です。
阿部選手は２００１年ドラフト１位で中央大学から入団、長嶋監督、原ヘッドコーチのもとで巨人の新人捕手としては２３年ぶりの開幕スタメンでプロ生活のスタートを切りました。
１９年間に日本一３回、リーグ優勝８回を経験、２１３１安打、４０５号ホームランを放っています。２０１２年には日本一となり、ＭＶＰ，首位打者、最多打点、正力松太郎賞に輝きました。ベストナイン９回、ゴールデングラブ賞４回を獲得しています。
私の記憶に残っているのは、サヨナラホームラン、サヨナラ安打が多かったことです。お立ち台で「最高です」が口癖でした。
それと開幕からホームランを量産し、当時の王さんの年間５５本の日本記録を抜くのではないかということがありました。調べてみると入団４年目の２００４年のことでした。開幕から３３試合で２０ホームラン、マーク・マグワイアの持つ当時の開幕からのホームランの世界記録を抜くハイペースとありました。その後ペースが落ち年間３３本にとどまりましたが、その最初のハイペースは今でも覚えています。
長い間ご苦労さま、ありがとうございました。